

教育目標	
心豊かにたくましく、生き生きと遊ぶ子どもの育成	
年度末の最終評価	
自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和7年10月16日	学校運営協議会
最終評価		

（1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none">・一人一人の心が動くきっかけに着目し、子どもが自己を発揮し、自ら身近な環境（人的環境も含む）にかかわって夢中になって遊ぶための援助や環境構成や援助について考える。・ねらいを明確にもち、長期・短期の計画性をもった保育を実践し、振り返りや改善を組織的に行う。・子どもの育ちを保障していくために、保育の専門性を高め、研究保育やエピソード研修等園内研修を充実する。・少人数園としてクラスだけでは広がらない取組を見極め異年齢の活動を積極的に取り入れる。
（取組結果を検証する）各種指標
<ul style="list-style-type: none">・ 幼児の姿の変容・週案の反省、評価の記述や事例検討・ アンケート項目「幼稚園は教育目標に向けての保育を行っていますか」 「幼稚園の環境は安全で子どもが豊かな体験ができるよう整えられていますか」 「子どもは楽しく幼稚園に通っていますか」 「子どもは自分のやりたいことを見つけて遊んでいると思いますか」

「お子さんは、園で身近な自然(栽培物、生き物等)に興味や関心をもってかかわっていますか。」

「お子さんは、友達とかかわることを楽しんでいますか。」

「お子さんは、異年齢児に親しみをもちかかわっていますか。」

中間評価

各種指標結果

日々子ども姿からエピソード研修を行い協議をしたり、園内研究保育で互いの保育を見合う研修を行ったりして幼児期の発達や育ち、環境構成や援助を学び合うことができた。今年度は、一人一人の心が動くきっかけに着目し、学びあっている。

アンケート項目

「幼稚園は教育目標に向けての保育を行っていますか」

大変そう思う・そう思う回答 100%

「幼稚園の環境は安全で子どもが豊かな体験ができるよう整えられていますか」

大変そう思う・そう思う回答 95%

「子どもは楽しく幼稚園に通っていますか」

大変そう思う・そう思う回答 100%

「子どもは自分のやりたいことを見つけて遊んでいると思いますか」

大変そう思う・そう思う回答 100%

「お子さんは、園で身近な自然(栽培物、生き物等)に興味や関心をもってかかわっていますか。」

大変そう思う・そう思う回答 100%

「お子さんは、友達とかかわることを楽しんでいますか。」

大変そう思う・そう思う回答 95%

「お子さんは、異年齢児に親しみをもちかかわっていますか。」

大変そう思う・そう思う回答 86%

自己評価

分析（成果と課題）

一人一人の子どもの心が動くきっかけに着目し、子どもが夢中になって遊ぶための援助や環境構成の工夫について協議を重ねている。少人数園でクラスだけでは経験できないことを異年齢との活動も積極的に取り入れながら、子どもたちに必要な経験ができるよう工夫して日々の保育を進めている。また、それぞれの立場から子どもの姿をみとり、互いに意見交換することで子どもの内面を理解することにつながっている。子どもの育ちや発達にふさわしい経験ができていないか常に振り返りながら後期に取り組んでいきたい。

分析を踏まえた取組の改善

子どもたちの育ちや発達にふさわしい保育が展開できているか、園全体で常に振り返り協議しながら日々の保育を進めていきたい。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- ・ 幼児の姿の変容・週案の反省、評価の記述や事例検討
- ・ アンケート項目

「幼稚園は教育目標に向けての保育を行っていますか」

「幼稚園の環境は安全で子どもが豊かな体験ができるよう整えられていますか」

「子どもは楽しく幼稚園に通っていますか」

「子どもは自分のやりたいことを見つけて遊んでいると思いますか」

	<p>「お子さんは、園で身近な自然(栽培物、生き物等)に興味や関心をもってかかわっていますか。」</p> <p>「お子さんは、友達とかかわることを楽しんでいますか。」</p> <p>「お子さんは、異年齢児に親しみをもちかかわっていますか。」</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>日々の保育について、先生方が子どもたちの発達や育ちを考え、毎日工夫して進めておられるのを感じるののでそのことがもっと多くの方に伝わるとよいなと思う。</p>

最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
自己評価	<p>分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p>

(2) 幼保小の架け橋プログラムの推進に関して

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に乾隆小学校と今年度の連携・接続についての方向性や年間計画を企てる。 ・進学した1年生の子どもが安心して学校生活が始められるよう小学校教員と連携して朝のほっこりタイム(出前保育)を行い支える。 ・互いに参観し合ったり、研究保育や研究授業を行ったりすることで互いの教育について知り学ぶ機会をもつ。 ・幼児期の教育について発信したり振り返ったりする中で保育を見直し実践に活かしていく。 ・架け橋期のカリキュラムの見直しをする。
<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の見通しや方向性を共有し計画できたか。 ・交流の事前・事後に内容についての協議ができたか。 ・研究保育や研究授業の参観、合同研修の回数や内容について。 ・アンケート項目「保幼小連携等の取組は子どもの育ちにつながっていると思いますか。」 「小学校との連携は、就学への安心感につながっていると思いますか。」 ・架け橋期のカリキュラムの見直しができたか。

中間評価

<p>各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に今年度の年間計画をたて、連携・接続についての方向性や互いの願いについて話し合うことができた。
--

- ・4月下旬から5月、朝のほっこりタイム（出前保育）を行うことができた。
- ・合同保育授業を行い、その後の研究協議から、互いの教育や子どもの育ちについて意見を出し合い学び合うことができた。

アンケート結果

「保幼小連携等の取組は子どもの育ちにつながっていると思いますか。」

大変そう思う・そう思う回答 90%

「小学校との連携は、就学への安心感につながっていると思いますか。」

大変そう思う・そう思う回答 95%

自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> <p>乾隆小学校と年度当初に互いの願いを話し合い、今年度の年間を見通した計画を相談し企てることができた。4・5月の出前保育では、1年生担任の願いをもとに毎回子どもの姿を共有しながら相談して進め、年長児と1年生との出会い方や交流について共に考えていく協議を行うことができた。6月には幼小の合同保育・授業を幼稚園で行い、5歳児と1年生が同じ場で活動する姿を幼小の教員で見合い、子どもの育ちや互いの教育について意見を出し合う研究協議を行った。交流の事前の打ち合わせでは、教員同士がねらいを明確にし共有したり、交流時の環境を考えたり整えたり、互いの子どもにとってよりよくなるよう相談し進めることができた。</p>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>アンケート結果から見えてきた課題として、小学校との交流や連携接続に取り組んでいるが、その交流の意味や意義を全保護者にも伝わるよう発信の工夫に取り組んでいきたい。</p> <p>架け橋期のプログラムの見直しに取り組んでいきたい。</p>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の見通しや方向性を共有し計画できたか。 ・交流の事前・事後に内容についての協議ができたか。 ・研究保育や研究授業の参観、合同研修の回数や内容について。 ・アンケート項目「保幼小連携等の取組は子どもの育ちにつながっていると思いますか。」 「小学校との連携は、就学への安心感につながっていると思いますか。」 ・架け橋期のカリキュラムの見直しができたか。
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <p>幼小架け橋プログラムの取組をしているのだから、その大事な意味や意義を保護者に伝わるように発信の工夫をしてほしい。</p>

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
---------	----------------

(3) 預かり保育に関して

具体的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態により、預かり保育の指導計画を見直す。 ・個の興味に応じてゆったり楽しめる環境や季節ならではの遊びや新鮮な遊びも取り入れ、内容の工夫に取り組む。 ・担任と預かり担当教員との連携を緊密にし、子どもが安心して参加できるよう家庭的な雰囲気をつくる。 	
(取組結果を検証する) 各種指標 <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の参加状況とその活動内容や指導計画の見直し状況 ・週案の振り返りによる子どもの姿のみとり ・担当者と担任との連携状況の振り返り ・アンケート項目「お子さんは、安心して預かり保育に参加していますか。」 	

中間評価

各種指標結果 <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育参加者は、4月当初は全園児の5割の園児が利用していたが、9月には全園児の7割の園児が利用した。また、預かり保育の利用率については9月で4割の子どもたちが利用している。 ・週案の振り返りから子どもの姿のみとり、翌週に活かせるように進めている。 ・担任と担当者との連携については、一日の保育活動の様子や情報を共有し進めている。 ・アンケート項目 「お子さんは、安心して預かり保育に参加していますか。」 大変そう思う・そう思う回答 100% 	
自己評価	分析(成果と課題) <p>子どもたちは、預かり保育に安心して参加していると保護者の方も感じておられることがアンケート結果からわかった。その日に参加する子どもの興味や関心をとらえ、楽しめる環境づくりに取り組んでいる。また、月に1回程度の、サッカーあそびやつくってあそぼうなどの日も楽しみに参加している。</p> <p>担任と預かり保育担当者との連携については、互いに意識し共有できるように努めている。週案の振り返りを翌週に活かすことに取り組んでいる。後期も続けていきたい。</p>
	分析を踏まえた取組の改善 <p>後期も内容の工夫や季節ならではの遊びの経験ができるように取り組んでいきたい。担任と担当者との連携についても引き続き緊密に取り組んでいきたい。</p>
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標 <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の参加状況とその活動内容や指導計画の見直し状況 ・週案の振り返りによる子どもの姿のみとり

	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者と担任との連携状況の振り返り ・アンケート項目「お子さんは、安心して預かり保育に参加していますか。」
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <p>預かり保育ならではの遊びも楽しみにしているので今後も引き続き内容の工夫に努めてほしい。</p>

最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div> <div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(4) 子育ての支援に関して

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童館や地域諸団体との連携を図り、子育て相談や園庭開放を実施し、地域の子育て支援センターとしての役割を果たす。 ・未就園児クラスの教育相談や園庭開放について広く発信していくとともに定期的に見直し内容の充実に向けての工夫や発信内容の見直しに取り組む。 ・「ほっこり子育て広場」や「家庭教育講座」を開催し、幼児期の子育てについて保護者同士で話し合える場づくりや企画の提供を行い、子どもの育ちや発達を考える機会を設定する。
<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児教育相談クラスの参加状況や取組内容、利用者の意見等 ・子育てについて話せる場の開催状況 ・アンケート項目「さくらんぼ組やいちご組（満3歳児）、預かり保育等の子育て支援の取組があることを知っていますか」

中間評価

	<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児教育相談クラスの取組内容については、在園児とのふれ合う時間を設けたり、季節にあった遊びを計画したり工夫に取り組んだ。 ・家庭教育講座やほっこり子育て広場については後期に計画している。 ・アンケート項目「さくらんぼ組やいちご組（満3歳児）、預かり保育等の子育て支援の取組があることを知っていますか」 大変そう思う・そう思う回答 100%
自	分析（成果と課題）

自己評価	<p>毎月の未就園児教育相談クラスの案内についてはより見やすくなるよう変更したり、在園児との交流を計画したり内容の工夫に取り組んでいる。</p> <p>1 学期には地域の諸団体とも連携を図ることができ、行事やさくらんぼクラスへの参加もあった。地域にこのような子育て支援の場があるのはうれしいという利用者からの意見があった。引き続き子育て中の保護者同士のつながりづくりや情報交換ができる場になるように努め、子育てについて相談しやすい雰囲気づくりに取り組んでいきたい。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>毎月のつくって遊ぼうや在園児との交流、季節の遊び等、後期にも計画していきたい。 家庭教育講座やほっこり子育て広場については後期に計画しているので進めたい。</p>
	<p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児教育相談クラスの参加状況や取組内容、利用者の意見等 ・子育てについて話せる場の開催状況 ・アンケート項目「さくらんぼ組やいちご組（満3歳児）、預かり保育等の子育て支援の取組があることを知っていますか」
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>日々の保育で先生方が子どもたちの発達や育ちをとらえ、工夫して進めておられるのを感じる。園の取組や子どもたちの育ちが伝わるとよいなと思うので、引き続き発信の工夫を願う。</p>

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（５）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の方と情報交換や連携の強化に努め、関係者評価を活用し、教育活動の改善を図る。 ・地域の資源を活かした指導計画を作成する。 ・地域の中での人とのつながりを感じ、地域に親しみを感じられるよう交流を進める。 ・ホームページやInstagram、幼稚園だより等で幼稚園の取組や活動について発信し開かれた幼稚園づくりをする。

<div> <div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやお便りなどの発信状況 ・学校運営協議会の方を含む地域の方の意見の聞き取り ・地域行事への参加、ゲストティーチャーや地域施設見学等の取組の様子 ・アンケート項目「子どもは、幼稚園での取組の中で地域や地域の方に親しみをもっていると思いますか。」 </div>	
--	--

中間評価

<div> <div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の地域へのお便り配布は実施できた。ホームページやインスタの配信状況については取り組んでいるが課題も残る。 ・地域の方との交流会が前期に開催できた。地域の行事、乾隆まつりにも参加し、ステージ発表を経験することもできた。 ・アンケート項目「子どもは、幼稚園での取組の中で地域や地域の方に親しみをもっていると思いますか。」大変そう思う・そう思う回答 76% </div>	
自己評価	<div> <div>分析 (成果と課題)</div> <p>前期の地域の方との交流会については、入園間もない3歳児は地域の方と直接ふれ合う場がなかったのも、そのことがアンケート結果に表れたのかもしれない。9月の乾隆まつりでは3歳児もステージ発表を経験することができた。後期には、交流会にも参加する予定がある。また、直接のふれ合いだけでなく、他学年の取組についての発信や地域の方が子どもたちのために取り組んでくださっているなどについても保護者や子どもたちにも発信していきたい。</p> </div>
	<div> <div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>後期には、地域の方との交流会に保護者にも参加していただき、地域の方と直接交流できる場や子どもたちの交流の様子を実際に見ていただいたりできる場の設定をしていきたい。また、後期には地域の方をゲストティーチャーとして迎え、織機の体験や地域の施設に見学に出かけたりする計画している。</p> <p>ホームページやインスタグラムなどの発信状況については後期に課題が残る。</p> </div>
	<div> <div>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやお便りなどの発信状況 ・学校運営協議会の方を含む地域の方の意見の聞き取り ・地域行事への参加、ゲストティーチャーや地域施設見学等の取組の様子 ・アンケート項目「子どもは、幼稚園での取組の中で地域や地域の方に親しみをもっていると思いますか。」 </div>
学校関係者評価	<div> <div>学校関係者による意見・支援策</div> <p>地域の方との交流会をもっているが、地域の方の得意なことなどを活かし、地域の方と幼稚園が互いに意味のある会のもち方を相談して進めていくとよいのではないかなと思う。</p> <p>こどもとの交流だけでなく、保護者とも交流できる機会があるとよいと思う。</p> </div>

最終評価

<div> <div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div> </div>

自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（６）教職員の働き方改革について

重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人が自分の職務に矜持をもち、生き生きとやりがいを感じ働ける職場づくりを目指す。 ・一人一人が自らの働き方に関する意識改革を進める。
具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が働き方改革と働きがい改革の意義を理解し、意識的に業務を行っていく。 ・教職員間でコミュニケーションを図り、互いを尊重し認め合い、風通しのよい職場環境づくりを行い、チームで組織的な園運営を行っていく。 ・優先順位をつけ業務に取り組む。 ・ノー残業デーの実施に取り組む。
（取組結果を検証する）各種指標
<ul style="list-style-type: none"> ・園運営の状況 ・ノー残業デーの実施状況 ・アンケート項目「教職員は生き生きと働いていますか」

中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none">・教職員は、自身の勤務時間を意識し業務にあたっている。一人一人が生き生きとやりがいを感じ働ける職場づくりに向けて教職員間でコミュニケーションを図り取り組んでいきたい。・ノー残業デーの実施については実施できる日がこれまでより増えている。・アンケート項目「教職員は生き生きと働いていますか」 大変そう思う・そう思う回答 １００％	
自己評価	分析（成果と課題） アンケート結果からそれぞれが生き生きと働いていることが読み取れた。教職員間で声を掛け合い、誰もが自分の意見が出しやすいようコミュニケーションを図り、互いに尊重し認め合いながら、チームで組織的な園運営に向けて取り組んでいきたい。 教職員は、自らの働き方に関する意識改革をもち、教職員の勤務時間への意識は高まっている。ノー残業デーについては、実施できる日が以前より増えてきている。
	分析を踏まえた取組の改善
	自分の職務に矜持をもち、生き生きとやりがいを感じ働ける職場を今後も目指し、コミュニケ

	ーションを密に図り、よりチームで組織的な園運営に取り組んでいきたい。
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・園運営の状況 ・ノー残業デーの実施状況 ・アンケート項目「教職員は生き生きと働いていますか」
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <p>教職員がやりがいを感じ働けるよう、引き続き取り組んでほしい。</p>

最終評価

<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>